

桜

生 工

日本大学生産工学部校友会誌

2010

Vol.40

CONTENTS

ごあいさつ

生産工学部校友会長 高野和雄 —— 2

生産工学部学部長 松井 勇 —— 2

特集「松井 勇 新学部長インタビュー」 —— 3

生産工学部長 松井 勇先生を囲んで

生産工学部入学試験 —— 6

平成22年度代議員総会 —— 7

工科系校友会支部長会 —— 8

第5回日進会ゴルフコンペ —— 8

母校を訪ねる会 —— 8

桜泉祭 —— 9

OB紹介 —— 10

バンセイ株式会社 上田 浩司

学科ニュース —— 12

日本大学ランキング —— 16



生産工学部校友会会長

高野 和雄

校友の皆様におかれましては、益々の御健勝と御清栄の趣、心より御慶び申し上げます。

本年4月1日に、松井勇先生が生産工学部長として就任されました。石井進前学部長からバトンタッチされた松井先生は石井先生共々、種々の校友会活動に多大な御理解を示していただき、心より嬉しく思っております。また、7月16日には「松井勇先生の生産工学部長就任祝賀会」を田中英壽日本大学理事長・校友会長、酒井健夫日本大学総長を初め多数の御来賓の方々の御臨席と生産工学部教職員及び校友会の皆様、そして研究室OB、桜建会材料施工研究会の皆様の御参会を得て盛会に開催することができ、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

また、前述致しました祝賀会に先立ち、5月13日には校友会顧問協議会を開催し、石井進先生への感謝と松井勇先生への期待を込めた生産工学部校友会名誉会長歓送迎会を行うことができました。また、石井進先生におかれましては本年6月より日本大学常任監事に就任されたことを御報告申し上げます。

私が、鬼丸三也前会長の後継として生産工学部校友会長に就任して早や2年余り。校友会に関連する公務を無事努めることができるのは、生産工学部の先生方と校友会の皆様の日々の校友会活動への御協力と御尽力の賜物と、ここに重ねて感謝申し上げます。

今後共、校友会活動を通して校友の皆様と共に母校の発展に更に寄与したく、倍旧の御指導、御鞭撻、御協力の程、心より御願い申し上げます。



日本大学生産工学部長
生産工学部校友会名誉会長

松井 勇

校友の皆様におかれましては、益々御健勝で御活躍のことと御慶び申し上げます。また学部教育、研究、種々の支援活動、そして運営に対し、多大な御理解と御協力をいただき、ここに深く感謝申し上げます。

本年4月1日より石井進先生より引き継ぎ、生産工学部長に就任致しましたことを、先ず校友の皆様にご報告申し上げます。

また、去る5月13日には校友会顧問協議会において生産工学部校友会名誉会長歓送迎会を開催していただくと共に、7月16日には高野和雄生産工学部校友会会長を初め、校友会建築部会、研究室OB会、桜建会材料施工研究会各々の代表が発起人となり、盛大な「生産工学部長就任祝賀会」を開催いただき、御参会の皆様より親しくお言葉を賜り、重ねて心より感謝申し上げます。

現在、大学を取り巻く環境は、極めて厳しい状況であると言わざるを得ません。少子化による大学全入時代を迎えると共に、長引く経済不況は受験生の減少傾向や学業の継続を断念せざるを得ない学生の増加傾向に拍車をかけていると思われます。また、大学を取り巻く新しい課題と社会的要請として、「高等教育のグローバル化」「世界をリードし、技術革新を生む基礎科学力の強化」「高度な専門職業人、実践的・創造的技術者の養成」「地球環境問題の解決」「社会貢献の推進」等が挙げられております。

これらに因應するためにも、校友会・卒業生の皆様の倍旧の御理解、御支援、御協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



松井勇 生産工学部長(左)、高野和雄 校友会長(右)

松井勇先生は、1月に行われた生産工学部
学部長選挙において教職員有権者の多数の
支持と得票を得られ、4月1日より生産工学
学部長に就任されました。

早速、越川茂雄生産工学部校友会広報委員
長と川岸梅和生産工学部校友会広報副委員
長が赴き、松井勇学部長(生産工学部校友会
名誉会長)と高野和雄生産工学部校友会長に
「これからの生産工学部」と題し、「学部の
運営」「学部と校友会の協力体制と内容」等
についてインタビューさせていただきました。
(平成22年9月7日、生産工学部長室)

越川・川岸：本日はお忙しい所、お時間をい
ただき有難うございました。

高野・越川・川岸：この度は、生産工学部長
御就任、おめでとうございます。心より御慶
び申し上げます。

松井：有難うございます。石井進前学部長よ
り引き継ぎ、4月1日より学部長に就任し、
早や5ヶ月が経ちました。責務の大きさに身
の引き締まる思いを致しております。

越川・川岸：6月の学部運営方針説明会では、
日本大学のスケールメリットや総合力を礎と

して「生産工学部らしさ」を紡ぎ出す更なる
改革を行うと述べられました。

松井：石井進前学部長は約5年前の学部長就
任挨拶の中で、「大学間競争の激化を逆に絶
好のチャンスと捉え、大学間競争を勝ち抜く
ため、あるいは生き残りをかけて、魅力ある
大学、学部づくりを進めなくてはなりません」
と述べられたうえで、このためには「教育
力、研究力、経営革新力、財務力の五つの
課題が挙げられる」と話されました。

越川・川岸：先生は当時学生担当でいらっし
やいました。

松井：この5年間、私も石井前学部長の元、
学生担当として取り組み、学部の発展に微力
ながら寄与させていただきましたが、完了し
たわけではございません。

越川・川岸：この「五つの力」は、ソフトと
ハードを含み込んだ大学環境づくりには必
要不可欠な力ですね。

松井：その通りです。この「五つの力」に対
して今後も継続して推進すると共に、この
「五つの力」を縦系に、そして1月の学部長
選挙時にマニフェストとしてお示した、魅
力ある大学づくり、生産工学部らしさを紡ぎ
出す、更なる改革の四本柱を横系にして、生
産工学部の教育目標を土台としながら、学部
の運営を進めていきたいと考えています。

高野：四本柱とはどういうものですか。

松井：横系となる更なる改革の四本柱の第一
の柱は「学生の目線に立った大学環境づく
り」です。第二の柱は「特徴を持つ大学環境
づくり」であり、第三の柱は「開かれた大学
環境づくり」、そして、最後の第四の柱は「地
域と連携した大学環境づくり」であります。

越川・川岸：4月以降、具体的に実行された
ことがいくつかありますね。

松井：受験生や高校生が生産工学部でキャンパスライフを過ごしたい、そして、卒業生達が生産工学部でキャンパスライフを過ごすことができ、本当に良かったと実感できる大学を創り出すために、先ず、キャンパス整備や美化を行いました。

越川・川岸：目に見える整備が行われていますね。

松井：花壇、新しい掲示板、桜の木の下での緑化等を行い、学生の良好な居場所づくりを進めるためにも、落ち着けるベンチの設置等も考えています。

高野：昨年の「キャンパスアイデアコンペ2009」で応募される空間の提案がありましたね。学生達が集まる場所や集まりたい場所は食堂だけでないことが良く分かりました。

松井：新しい「ものづくり工房」には食堂だけでなくカフェテリアも計画しています。カフェテリアの愛称を学生から募りたいと考えています。

越川・川岸：学部長は学生担当時代から学生のための居場所づくりを考えていらっしゃいました。他には如何ですか。

松井：藝術学部の卒業制作の優秀作品に「生産工学部賞」を授与しています。その人達が現在、若手作家として活躍し、社会に認められるようになってきました。

越川・川岸：とても嬉しいことですね。「生産工学部賞」は当初より校友会の援助をいただいて運営されていますね。

高野：社会的に著名な作家になられて、校友会としてもとても嬉しく思います。

松井：彼等の卒業制作の作品や、「坂の上の雲」の秋山好古が率いた騎兵第14連隊の石碑やオルゼン型50t万能試験機、ジュピターIV型エンジン、BELL47汎用ヘリコプター

等々、キャンパス自体が美術館であり博物館だという「津田沼キャンパス美術館・博物館マップ」も製作し、オープンキャンパスで配布致しました。特にオルゼン型は日本に2台しかない貴重な試験機です。

高野：生産工学部のこの敷地の歴史が分かるのは良いことと思います。また学祖山田頭義先生の話など学生達に伝えることも必要ではないでしょうか。より一層母校愛が生まれればと思います。

松井：母校愛を生むためにも、社会で活躍している卒業生の紹介を積極的に行いたいと思います。

越川・川岸：桜生工やホームページに卒業生の活躍を掲載したいと思います。

松井：いろいろな広報を活用したいですね。

越川・川岸：退学者を減らす努力も実行に移し始めましたね。

松井：ピアサポートシステムを6月から始めました。1人の大学院生や4年生が1年生約10人の学生生活全般をサポートしています。

高野：聞えています。いろいろなサポートをしてもらえて喜んでいる学生の声を。

松井：また、4月より出席管理システムを導入し、2回休んだら本人に連絡し、どのよう



松井 勇 生産工学部長



高野和雄 校友会長

な状況なのか、確認するようにしています。

越川・川岸：他大学ではいろいろなサポートを行っているのを聞きます。本学部もこのようなシステムを有効に活用できればと思います。

越川・川岸：入試センターの資料等によれば、高校生はどれだけ面倒を見てもらえるかが重要そうですね。オープンキャンパスに親子連れで来て確認しているようです。

松井：その通りです。「めんどろみー番」のパンフレットが有効だと思います。

高野：更なる魅力あるキャンパスづくりが重要になりますね。

越川・川岸：就職率も工科系の他大学・他学部には高いことも誇れることです。

松井：日本大学のスケールメリット、伝統、本学部の生産実習（インターンシップ）、そして先生方の面倒見の良さ等が有効に働き、相乗効果が生まれていると思います。

高野：校友会でも積極的に生産実習の受け入れ企業の増加に協力しています。

越川・川岸：キャンパスジョブは如何ですか。

松井：授業が終わるとすぐアルバイトに赴く学生が増えました。授業に差し障りの無い時間帯に学内でのアルバイトが計画できない

だろうかと考え、実行に移そうとしています。

高野：最近は、アルバイトが主で授業が従になっている学生が多いと聞きます。

越川・川岸：アルバイトのために授業を受けることがおろそかになり、退学をしてしまう学生もいるようです。キャンパスジョブが、お金だけでなく学生のマナー等の意識の向上や母校愛につながれば良いですね。

松井：キャンパスジョブはキャンパスでの想い出だけでなく人間力が養われると思います。

高野：そのような経験を通して「生産工学部の学生は良い」と社会に認めてもらえれば、更なる効果が生まれますね。

越川・川岸：加えて、地域に根差した大学づくりが必要ですね。

松井：地域との関連は重要です。地域密着型は学部の大きな特徴になります。従来から行っている環境大学の拡充だけでなく、生産工学部が地域の教育拠点として機能できればと思っています。

高野：生産工学部校友会も学生支援等、できる限りのバックアップ体制を整えていきます。

越川・川岸：今日はお忙しい中、貴重なお話を有難うございました。



右から、高野和雄 校友会長、松井勇 生産工学部長、越川茂雄 校友会広報委員長、川岸梅和 校友会広報委員長

校友子女入学試験（平成22年11月14日実施）

■出願資格：次の①、②および③の要件を満たす者。

①大学入学資格を有し、本学への入学を第一希望とする者で、次の（ア）～（オ）のいずれかに該当する校友の子女（2親等内直系血族：受験者本人の祖父母、父母、兄弟、姉妹）である者。

（ア）以下に示す、学校法人日本大学が設置する学校に在学または修了した者。

学校法人日本大学が設置する学校：●日本法政学校 ●高等工学校及び工業専門学校 ●東京歯科大学及び歯科医学校 ●東京獣医専門学校 ●専門学校名による専門学校、専門部、高等専門学校、高等専攻科及び短期大学 ●東京高等獣医学校及び東京獣医歯科専門学校 ●専門学校名による大学 ●大学名による大学及び学部、大学院及び学科 ●学校教育法（新学制）による大学、大学院及び短期大学

（イ）日本大学等が行う規則第9条に定める推薦校友。

（ウ）学校法人日本大学が設置する学校に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者。

（エ）学校法人日本大学の役員または役員であった者。

（オ）学校法人日本大学の特別附属・準付属校を設置する法人に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者。ただし、特別附属・準付属校を設置する法人は、平成22年4月1日現在のものとする。

②生産工学部への入学を第一希望とする者。

③合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。

生産工学部入学試験

平成23年度入学試験日程

入試の種類	出願期間	試験日	試験場	発表日	選考方法
AO入学試験 第1日	AO入学試験説明会 8月1日(日) ・2日(月)	9月18日(土)	本校(津田沼校舎)	9月29日(水)	書類審査 第1日 適性検査(言語系・非言語系)、模擬授業
AO入学試験 第2日	9月7日(火)～9月13日(月)	9月19日(日)	本校(津田沼校舎)		第2日 面接
編入学試験(2・3年次)	10月1日(金)～10月7日(木)	10月16日(土)	本校(津田沼校舎)	10月22日(金)	学力試験(英語・数学) 口述試験
校友子女入学試験	確認書締切日 10月25日(月) 11月4日(木)～11月8日(月)	11月14日(日)	本校(津田沼校舎)	11月19日(金)	書類審査、小論文、適性検査、面接試験
外国人留学生入学試験	出願締切日9月17日(金) 必着	10月16日(土)	本校(津田沼校舎)	10月22日(金)	基礎学力試験(英語分野・数学分野)、作文(日本語)、面接
得国生入学試験	出願締切日9月17日(金) 必着	10月16日(土)	本校(津田沼校舎)	10月22日(金)	基礎学力試験(英語分野・数学分野)、作文(日本語)、面接
指定校制推薦入学試験(普通科)	11月4日(木)～11月8日(月)	11月14日(日)	本校(津田沼校舎)	11月19日(金)	書類審査、小論文、面接試験
推薦入学試験 A方式	統一テスト 11月13日(土) 12月8日(水)～12月10日(金)	12月18日(土)	本校(津田沼校舎)	12月24日(金)	書類審査、面接試験
推薦入学試験 B方式	11月11日(木)・12日(金)	11月20日(土)	本校(津田沼校舎)	11月26日(金)	書類審査、面接試験
公募制推薦入学試験	12月1日(水)～12月6日(月)	12月11日(土)	本校(津田沼校舎)	12月17日(金)	書類審査、適性検査(英語分野・数学分野)、面接試験
C方式第1期(センター試験を利用した試験)	1月8日(土)～1月15日(土) 窓口受付 ※ 1月15日(土)	1月15日(土) 1月16日(日)	大学入試センターが指定する試験場	2月10日(木)	大学入試センター試験のみ
C方式第2期(センター試験を利用した試験)	1月8日(土)～3月7日(月) 窓口受付 ※ 3月7日(月)	1月15日(土) 1月16日(日)	大学入試センターが指定する試験場	3月17日(木)	大学入試センター試験のみ
A方式(第1期)	1月8日(土)～1月22日(土) 窓口受付 ※ 1月21日(金)・1月22日(土)	2月1日(火)	津田沼(本校)、札幌、仙台、水戸、高崎、大宮、東京、横浜、新潟、長野、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡の15試験場	2月8日(火)	学力試験：試験科目・学科によって選択科目を設定
A方式(第2期)	1月8日(土)～2月1日(火) 窓口受付 ※ 1月31日(月)・2月1日(火)	2月9日(水)	津田沼(本校)、東京、大宮、横浜、水戸、千葉の6試験場	2月16日(水)	学力試験：英語、数学、理科(物理あるいは化学)
A方式(第3期)	1月8日(土)～2月10日(木) 窓口受付 ※ 2月9日(水)・2月10日(木)	2月19日(土)	津田沼(本校)、札幌、仙台、水戸、高崎、大宮、東京、横浜、新潟、長野、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡の15試験場	2月25日(金)	学力試験：学科によって選択科目を設定

※窓口受付時間は 9:00～17:00 入試センター TEL 047(474)2246

生産工学部校友子女入学試験ガイド

- | | |
|-----------|-------------|
| 機械工学科…2 | マネジメント工学科…2 |
| 電気電子工学科…2 | 数理情報工学科…1 |
| 土木工学科…2 | 環境安全工学科…1 |
| 建築工学科…2 | 創生デザイン学科…1 |
| 応用分子化学科…2 | |

選考方法

書類審査(出願資格確認書/出身学校長が作成した調査書)

小論文(600字以内で記述)【試験時間60分/配点100点】

適性検査【配点200点】 面接試験【配点100点】

※高等学校長の推薦書は必要ありません。

※合格基準に達しない場合には、合格者が募集人員に達しないこともあります。

校友子女入学試験Q&A

Q. 過去の小論文テーマについて教えてください。

A. ●平成22年度

「感動」は、生活のモチベーションを高める効果をもたらします。あなたの感動例を一つ紹介し、それによって、心や行動がどう変化したかを書きなさい。

●平成21年度

「あなたは今まで多くの先生と出会い、たくさんの授業を受けてきたでしょう。小中学校、高校、塾、予備校、習い事のスクール、社会科見学、野外実習など。その中

で一番心に残った先生もしくは授業について書き、そこから大学でどんな授業を受けたいか、どんな先生に出会いたい、思ったことを自由に書いてください。

Q. 2親等内直系血族とは、どこまでを指しますか？

A.

養親の生父母、父母、子、孫のことを指します。兄弟・姉妹・おじ(伯父・叔父)・おば(伯母・叔母)、いとこ(従兄・従弟・従姉・従妹)などは含まれません。なお校友子女確認書締切日は出願締切日の2週間前、10月25日(月)となりますのでご注意ください。

平成22年度 生産工学部校友会代議員総会



ご挨拶される 田中英麿理事長



代議員總會

収支報告 平成21年度

經常收支計算書

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

[illegible]

生産工学部校友会の代議員総会が6月19日（土）市川グランドホテルで行われました。総会には140名の校友が出席し開会、すべての議案が承認されました。

懇親会では田中英壽理事長をはじめ多数のご来賓を迎え和やかな会になりました。

事業報告 平成21年度

会員の状況（平成22年3月31日現在） 正会員72,144名 学生会員5,643名

● 事 業 開 拓		
年月日	内 容	所
21. 4. 1	平成 21 年度入学準備に先立ち全職員	
21. 5. 20	金銭教育	
21. 8. 20	平成 21 年度役員例会	
21. 8. 28	下町あきば学園創立 50 周年記念	
21. 9. 6	第 1 回地区交流コンベンツ(第 40 期 2008)へ奨励金を贈る	
21.10.20	「国士」第 30 号発行	
21.11.9	協賛費・サタル 8 協賛・奨励金を受領	
21.11.7	「専科生会館ふりかへ」へ協賛	
21.11.18	生理工学部を視察訪問・健康企業創造会へ協賛	
21.12.21	国士会館訪問行動	
22. 2. 4	特別公開講座「新時代の教育」	
22. 3. 25	平成 22 年度卒業生(14 名)に奨励金を贈る	

年月日	会議名	内 容
21. 4. 2	有価証券委員会	社債総額について
21. 4. 6	取締役委員会	社債委員会について
21. 5. 14	運営協議会	社債総額について
21. 5. 18	監査委員会	平成30年度決算算出のまとめ
21. 6. 4	有価証券委員会	有価証券について
21. 6. 4	監査委員会	平成30年度決算算出、平成31年度予算案について
21. 7. 1	社労会・労務委員会	給与と労務について
21. 7. 26	取締役協議会	給与と労務について
21. 8. 29	経営委員会	労務と給与について
21. 8. 31	企画委員会	労務と給与について
21. 9. 24	運営協議会	労務と給与について
21. 11. 6	取締役委員会	労務と給与について
21. 11. 9	有価証券委員会	社債及有価証券について
21. 11. 21	経営会議	企画委員会について
21. 12. 3	取締役特別委員会	取締役会による決定について
21. 12. 17	取締役委員会	取締役会、事業報告について
21. 12. 24	取締役委員会	平成31年度決算について
22. 5. 22	運営協議会	社債総額について
22. 5. 28	労務会議	社債総額について
22. 6. 3	取締役特別委員会	取締役委員会、入学生数について
22. 6. 18	取締役特別委員会	社債及有価証券
22. 7. 29	取締役委員会	社債総額について
22. 12. 29	取締役委員会	取締役委員会について

● 対 外 関 係			
年月日	内 容	着	出 発 者
計. 5. 12	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 12	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 12	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 19	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 20	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 27	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
6. 29	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
5. 11	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 12	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 27	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 28	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 24	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 25	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 31	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
7. 31	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
8. 21	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
8. 21	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
8. 29	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
9. 4	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
10. 2	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
10. 3	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
10. 3	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
10. 22	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
10. 24	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
11. 13	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
12. 18	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
12. 18	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
計. 12. 18	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
1. 8	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
1. 14	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
1. 31	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
2. 20	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
2. 20	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
2. 25	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
3. 5	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
3. 15	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
3. 29	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
3. 25	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
3. 25	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
4. 5	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
5. 7	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	
5. 15	日 本 大 学 校 友 会 会 長 会 議 開 催	高橋 金生	

工科系四学部

第13回日本大学工科系校友会支部長会が平成22年8月28日(土)日本大学理工学部9号館で開催されました。北は北海道南は九州の各支部長、4学部校友会幹事約100人が出席し各支部の現状報告をしました。懇親会はピストロ備前に移りご来賓に出村克宣工学部長、松井 勇生産工学部長、草間 貞薬学部長、齋藤直樹理工学部事務局長、三田光顯生産工学部事務局長、鈴木秀雄薬学部事務局長をお迎えし、楽しい祝宴となりました。

来年は工学部校友会が当番校になります。



第13回工科系校友会支部総会

第5回日進会(教職員・校友会合同) ゴルフコンペ

平成22年10月4日(月)スカイウェイカントリークラブで生産工学部教職員と校友会幹事で合同ゴルフコンペを開催しました(各個人払い)。競技方法は18ホール新ベリア方式(同ネットは年長者上位)で行われ、優勝は神野英毅さん(環境教授)、準優勝は三田光顯さん(事務局長)、3位は小田部 明さん(マネジメント教授)でした。団体戦では教職員チームが優勝し祝宴はたいへん和やかな会になりました。次回幹事はマネジメント部会です。



第5回日進会(教職員・校友会合同) ゴルフコンペ

母校を訪ねる会

生産工学部では毎年、桜泉祭(旧泉祭)の時期(今年度は10月30日(土)～11月1日(月))に「母校を訪ねる会」を開催し、皆様をご招待申し上げております。

今年度は卒業50年(昭和35年卒業)、卒業40年(昭和45年卒業)、30年(昭和55年卒業)、20年(平成2年卒業)及び10年(平成12年卒業)を終った皆様を対象に、下記のように第22回「母校を訪ねる会」を催したく存じます。

なにかとご多端の折とは存じますが、是非御家族共々ご来場賜り、在学当時の先生方を交えた教職員との懇談やお互いの旧交を温めるとともに、後輩の主催する桜泉祭を見学され、ご指導くだされば有り難く存じます。

尚、ご招待申し上げる卒業生以外の皆様でもご都合がよろしければ、お互いお誘い合わせの上、お気軽にご来校くださることを心よりお待ちしております。

○日時 平成22年10月31日(日曜日)

受付: 14時00分～15時50分

1号館1階正面入口

懇親会: 16時00分～17時30分

1号館3階大会議室

学内見学: 随時一桜泉祭、研究室等を見学、訪問してください。

○場所 日本大学生産工学部津田沼校舎

○会費 無料

○連絡先 校友会事務局 047(476)1140



ご挨拶される石井進校友会相談役(前生産工学部長)



平成21年度母校を訪ねる会・懇親会会場

第19回

桜泉祭

開催日時

10月30日(土)～
11月1日(月)



展示

各サークル・団体・研究室が教室やテントで展示を行います。



模擬店

今年度も多数の団体が様々な美味しい料理を販売します。



体育館

体育館では、子供向けのイベントも行います。



昨年度のアーチ門



ステージイベント

今年度も芸能人ライブやビンゴ大会など様々なイベントを行います。

当日参加可能な企画もあるので、是非ご参加下さい。



同窓生の皆様には、日頃各所で御活躍の事と御喜び申し上げます。

今年度桜泉祭は19回を迎えることになりました。

昨年度の桜泉祭も多くの方々からの御協力・御支援をいただき、盛大のうちに終えることができました。

そして、今年度の桜泉祭は「LINE」をテーマに、日頃なかなか関わる事が少ない「学校」・「サークル」・「学生」・「地域の人々」それぞれが桜泉祭を通して1つに繋がることを目指しています。これは、今年度のNU祭の統一テーマ「1 to 1」(日本大学創生121周年及び人と人とのつながりをかけた)とも結びつき人同士の「つながり」を強く意識したテーマです。

本学部の多くの同窓生と在校生への意識を一つにし、一層の発展と強化された運営を実行委員一同、全力で目指していく所存であります。この桜生工を御覧の同窓生の皆様には今後も桜泉祭に足を運んでいただき、末永く御協力・御支援のほど、宜しくお願い致します。

平成22年度 桜泉祭実行委員長 機械工学科3年 永野 椋

桜泉祭実行委員会のホームページでは今年のイベントのスケジュールや模擬店の各メニューなど様々な情報を公開中です。最新の情報も随時更新していきますので、ぜひご覧下さい。

桜泉祭実行委員会公式ホームページ <http://ousensai.com/>



マネジメント工学科（旧管理工学科） 昭和 47 年卒業



バンセイ株式会社
取締役副社長
上田 浩司

プロフィール

昭和 47 年 (1972)	4 月	萬世建設㈱ 入社
昭和 48 年 (1973)	10 月	萬世放送施設㈱ 取締役就任
昭和 50 年 (1975)	11 月	萬世建設㈱ 取締役
昭和 59 年 (1984)	4 月	ジェスコ㈱ 取締役
昭和 63 年 (1988)	11 月	ジェスコ㈱ 代表取締役
平成 2 年 (1990)	5 月	バンセイ㈱ 専務取締役
平成 2 年 (1990)	5 月	㈱テレコン 取締役
平成 9 年 (1997)	10 月	萬世建設㈱ 取締役副社長
平成 11 年 (1999)	5 月	ジェスコ㈱ 取締役
平成 14 年 (2002 ~ 2003)		東京桜門ライオンズクラブ 会計
平成 16 年 (2004 ~ 2005)		東京桜門ライオンズクラブ 幹事
平成 20 年 (2008)	5 月	バンセイ㈱ 取締役副社長
平成 21 年 (2009 ~ 2010)		東京桜門ライオンズクラブ 会長

情報伝達の現場を支える最高のサポート

2010 年 6 月～7 月、FIFA ワールドカップが史上初のアフリカ大陸で開催されました。全世界が注目した記念すべき大会には我が日本代表も参戦し、熱戦を繰り広げるその姿は TV やラジオ、新聞、インターネット、モバイル端末等の様々なメディアを通じて日本全国へ伝えられ、熱狂の渦に巻き込んだことは記憶に新しいかと思えます。

放送中継技術は常に進歩し続けております。最近でも地上デジタル放送や 3D 液晶テレビといったキーワードもよく耳にします。そのような中継技術の中に、新しい視点から撮影する技術の一つとして「スカイカム」という機材があります。高い位置にワイヤーを張り、そのワイヤーにカメラ本体を吊り下げて遠隔操作し、上空からの無人撮影を可能にしたものです。現在では最新技術を駆使して様々なシーンで使用されるこの「スカイカム」ですが、かつて日本中が注目した一大セレモニーで使用されました。それが平成 5 年 (1993) 6 月 9 日に催されました『皇太子徳仁殿下御成婚』です。このセレモニーに我々は全社一丸となり取り組み、私個人としても特に印象深い現場の一つになっています。

同年の 1 月に皇太子妃に小和田雅子さんが決定したことが伝えられた後、弊社はその放送中継仮設業務に携わることとなりました。NHK 及び民法各社との打合せが繰り返され、私が総指揮を取り、プロジェクトチームを編成してこれに対応しました。スポーツでもイベントでも、本番は一発勝負であり失敗は許されません。まして日本国中が注目するセレモニーであれば尚更のことです。御成婚当日は会場全体をただならぬ緊張感が包み、その瞬間はそこまで迫っていました。



御成婚/パレード中継作業



御成婚/パレード沿道の報道陣



現場本部前にて

NHK が御成婚パレードを撮影する為に採用を決めた新兵器スカイカム取付の為、二基のタワーを 100M の間隔で設置し、その間にワイヤーを張りました。周囲の建物や木を避ける為、高さ 20M を超える仮設のタワーが必要でした。事前検証から幾つかの克服すべき条件がありましたが、これまでの放送中継で培った技術と弊社の建設部門を中心とする他分野からの経験を結集させてようやく実現にこぎつけ、そして本番を向かえました。

朝からの雨模様の中で準備は進みましたが、いざパレードが始まる直前に雨は上がり、19 万人の観衆による祝福と歓呼の声で迎えられました。弊社としてもこの一大セレモニーで滞りなく作業をする為に、仮設タワーや通常のカメラ台等の設備の他に最新兵器を導入しています。それが宮内庁からパレード区間待機する各担当との通信手段として弊社担当の全員が所持した「トランシーバー」と「デジタル式携帯電話」でした。我々は現場本部に陣取り、各ブロックと連絡を取り合い臨機応変に対応し、無事に終えることができました。

皇太子徳仁殿下御成婚から遡ること 33 年前の昭和 34 年（1959）の皇太子明仁殿下御成婚の際に導入された最新技術は、映画の撮影等によく見かけるレールにカメラを固定して移動しながら撮影する「移動カメラ」でした。ただその移動距離は 350m に及び、映画撮影のノウハウに加えて専用部材の製作等弊社独自の技術が活かされました。同じパレードでも「移動カメラ」から「スカイカム」へと撮影技術は進歩しました。そしてその要因の一つにはパレードの手段が「馬車」から「オープンカー」へ変わった点があります。見たいもの、伝えたいものが変われば、求められる技術が変わってくることは必然です。

時代と共に各分野で技術革新が進んでいます。放送技術もより見応えのある瞬間を収める為、あらゆる角度から進み続けています。我々も同じです。いつの時代であっても、どのような場面であっても、「伝えること」の一端を担っていることに責任と自信をもって取り組んでいきます。スポーツ競技やイベントの中継、時には事件や事故の現場にも立ち会いながら現在があります。つくば科学万博（1985）や世界陸上東京大会（1991）、長野冬季オリンピック（1998）、FIFA ワールドカップ日韓共催（2002）等も一言では語るこのできない瞬間の連続です。

セオリーとセオリーを超えたスタッフ達の連携と瞬発力がリハーサルや失敗の許されない世紀の瞬間をカメラに収めることができます。表舞台に立つことはありませんが、情報伝達の現場において技術面・安全面でも最高のサポートをしながら、これからも新しいオーダーに応え続けていきます。



御成婚パレード風景



当時の新兵器「スカイカム」



スカイカム用仮設カメラ台

機械工学科

【人事】3月に石井進教授、4月に坂井卓爾教授、5月に菅又信教授、7月に上野博之教授、9月に森康彦教授が退職されました。永年にわたり機械工学科の発展に貢献してくださり、本当にありがとうございました。これからもご健康に留意され、機長として御歳を重ねられますことを心からお祈り申し上げます。また、4月に久保田正広先生が教授に昇格されました。栗谷川幸代専任講師が、生産工学部海外派遣研究員として8月から半年間の予定で英国ノッティンガム大学に留学中です。

【トピックス】○機械工学科では、学科の新しい特色を創出すること、また学生にとって海外での研修を通じて工学的素養を高めながらパイロット免許を取得することを目的としたパイロット免許取得支援プロジェクトが今年度からスタートしました。初年度は大学院生を含む6人から参加申込みがありました。前期は、ビザ申請、英会話訓練、学科試験等について同行教員の野村浩司教授による事前教育を実施しました。夏季休暇中の2ヶ月間を利用して米国のパイロットスクールで飛行訓練を行い、また学科試験に関する授業を受講し、自家用飛行操縦士免許の取得を目指します。本学科初のパイロット免許取得学生の誕生が期待されます。



パイロットスクール参加者募集パンフレット（抜粋）

電気電子工学科

【学生数】学部 892名 大学院（修士）48名

【人事】教授昇格者：藤田 鑑夫 新任：教授 原 一之 助教 坂岡 誠 退職者：大谷義彦教授、澤澤忠良教授

【トピックス】○本学科では、少人数教育、学生の広範囲にわたる興味に対応すべく、エネルギーコース、eコミュニケーションコース、クリエイティブエンジニアリングコースの3コース制をとっています。この中で、クリエイティブエンジニアリングコースは、平成22年度にJabeesの認定審査を予定しています。これは、国際的に通用する技術者の育成が狙いであり、日本技術者教育認定機構により審査認定された教育プロセスと教育環境のもとに教育が行われるコースです。教員一同、教育の質、成果を保証し、かつ継続的に改善に取り組んでいます。数年来、新入生同士、教員との親睦を深めるために、一泊二日の見学旅行を行っています。平成22年度は、4月17日に前夜から積



雪を踏みしめて日光東照宮を見学する1年生
(2010.04.17)



平成22年度大学祭での中高生向け電子工作教室

もった雪の中、日光東照宮を見学し、その後ホテルでのグループミーティング、4月18日にはツインリンクもてぎを見学しました。○本年度から先輩が1年生の学生生活の相談相手になるピアサポーターシステムが始まりました。また学生の自習を支援するために、37-101号室に自習室を開設しました。○ものづくり、エンジニアリングデザインに重点を置いたプロジェクト演習(3年生)が昨年度からスタートし、本年度は班別にロボットを作成し、成果発表会を行いました。

土木工学科

【学生数】学部 909名 大学院（修士）30名 大学院（博士）2名

【人事】主任に落合実教授が再任、専攻主任に秋葉正一教授が選任されました。また学部運営では工藤勝輝教授が学生担当に任命されています。平成22年3月末までに西川隆教授、山本高義専任講師、徐銘謙助教、高橋望佳助手が定年および任期満了で退職されました。そして平成22年4月から新任教員として鷺見浩一准教授、青山定敬助教および山口晋助手の3名が着任され、また高崎英邦教授および三田地利之教授は専任の特任教授となりました。

【トピックス】恒例となっています1年生オリエンテーション旅行は1泊2日(4/24～25)で茨城県小山ダムを見学、袋田温泉に宿泊し、校友の講演やグループミーティングそして「袋田の滝」見学などで懇親を深めました。今年度も茨城県内の校友の方々に見学現場の手配などでご尽力いただきました。そして土木工学科恒例の3年生生産実習における現場見学旅行(9/14～15)は東京湾臨海道路、首都圏外郭放水路、中央連絡自動車道、濁西川ダム、足尾砂防などの事業を3つのグループに分かれて見学を行っています。鬼怒川温泉に宿泊して学生との親睦を深めました。この旅行でも各方面の校友の皆さんにご協力を頂いて実施されています。



1年生オリエンテーション旅行風景



3年生実習旅行風景

建築工学科

【夏ゼミ2010】

横芝研修所を会場に8月18-21日の日程で、日本大学、昭和女子大学、首都大学東京、武庫川女子大学による合同建築ワークショップを開催した。生産工学部生14名を含む47名の学生が参加し、大学の枠を超えた混成8チームが1カ月に及ぶチームディスカッションと準備を経て、夏の海をテーマにインスタレーションの制作に取り組んだ。建築家の平田晃久氏と永山祐子氏を迎えた審査会において、「[夢想]」が最優秀作品に選ばれた。(担当: 岩田伸一郎)

【「組立建築」合同ワークショップ】

7月25日~9月5日、坂倉準三の「組立建築」の組立・解体が居住空間デザインコースの3年生7名と東京理科大学(山名研究室)の学生10名程度によって行われ、オープンキャンパスⅠ・Ⅱ・Ⅳに参加した高校生がその様子を見学した。組立には、基礎: 半日(3時間程度)、上座: 1日(8時間程度)、解体には1日(5時間程度)がかかった。(担当: 亀井靖子)

【千葉県大多喜町 歴史的環境を有する地区の保全・再生】

建築・環境デザインコース(4年)設計課題で大多喜町をテーマに制作した5グループの学生作品(川岸・北野研究室、坪井研究室、宮崎研究室)の公開発表会、意見交換・交流会を開催した。(日時: 9月4日、会場: 大多喜町中央公民館、後援: 大多喜町、コーディネーター: 日高暁也教授) 70名を超える大多喜町の皆さんにご参加いただき活発な意見交換が行われ、継続して歴史的環境を活かしたまち育を協同・協働していくこととなった。(担当: 北野幸樹)



最優秀作品「[夢想]」

組立建築



歴史的環境を有する地区の保全・再生
(大多喜町中央公民館にて)

応用分子化学科

【学生数】学部888名 大学院(修士)76名 大学院(博士)5名

【人事】平成22年度の学科主任は清水正一、専攻主任は山田康治が任命されました。今年度、新任の教員として保科貴亮助教(化学工学)が4月に着任され、辻研究室に所属して学生の教育研究指導に活躍されています。今年度、昇格された教員は、津野孝准教授(有機化学)が教授に、田中智専任講師(無機化学)が准教授に、佐藤敏幸助手(化学工学)が助教にそれぞれ昇格されました。したがって、平成22年度の教員構成は、教授7名、研究所教授3名、准教授5名、専任講師2名、助教4名、助手1名で、研究室数は13名となっています。

なお、最新の学科情報はホームページ(<http://www.ic.cit.nihon-u.ac.jp/index.html>)をご覧ください。

【学位取得者】斎藤仁(さいとう ひとし) 博士(工学)・日本大学大学院生産工学研究科応用分子化学専攻(平成22年3月25日)・「遺伝子組換えによる毒性嫌気性菌Clostridium perfringens α -Toxin抗原の同定法と高感度迅速診断法に関する研究」、田中智(たなか さとし) 博士(工学)・日本大学大学院生産工学研究科応用分子化学専攻(平成21年12月21日)・「ソフトケミカル手法を用いた層状化合物の合成とその応用」

【トピックス】○平成21年11月6日に(株)曙ブレーキ、アサノコンクリート(株)、(株)シード、住友大阪セメント(株)、田嶋ルーフィング(株)、電気化学工業(株)、(株)東芝、(株)巴商会などでご活躍の卒業生の協力のもと第2回就職交流会を開催して在校生と卒業生の交流を深めました。○学外オリエンテーションとして、平成22年4月17日から1泊2日の日程で日本大学軽井沢研修所に宿泊し、富岡製糸場(群馬県)の見学やグループミーティングにより新入生同士の親睦を深めてきました(写真1)。○田中智准教授は、日本大学海外派遣研究員(長期)として3月より1年間、オタワ大学(カナダ) Sayari教授の下で、メソ多孔質シリカにナノレベルで担持した触媒に関する研究に取り組まれています(写真2)。また、辻智也教授は同海外派遣研究員(短期)として、8月4日より1ヶ月間、米、メキシコ、オランダ、ドイツ、イタリア、台湾の各国で相平衡測定に関する研究を行っている大学、研究機関を訪問され、講演やディスカッションなどを行ってきました。○千葉県総合教育センター主催の研修講座(講座番 3352)を平成22年8月4日に応用分子化学科で実施しました。3名の教員による講義や実験(テーマ①「酵素の触媒作用の環境浄化への利用」山田和典教授、②「結晶の示す色と電子状態」山田康治教授、③「グリーンケミストリーを指向したバイオ燃料の合成」岡田昌樹専任講師)を通じて、千葉県内の公立中学・高等学校で理科を担当されている先生の研修に協力させていただきました。



平成22年度 学外オリエンテーション



カナダへ出張中の
田中智准教授(中央)

○(独)科学技術振興機構(JST)が公募した産学イノベーション加速事業【先端計測分析技術・機器開発】の「プロトタイプ実証・実用化プログラム」に本学科の中釜達朗准教授がサブリダーとして申請した課題「高速・高分離マルチカラムGCシステムの実用化開発」が採択されました。

学科ニュース

マネジメント工学科

【学生数】学部879名 大学院(修士)37名 (博士)2名

【人事】学科主任は河合信明教授、専攻主任は藤藤敏雄教授が選任されました。

昇格：柴田樹教授 矢野耕也教授 豊谷純准教授 定年退職：竹中理准教授

【トピックス】○4月17日、18日に1年生のオリエンテーションが、千葉の富浦ロイヤルホテルにて行われました。食事をはじめとして、グループ毎に分かれたミーティングを行うなど、入学間もない学生相互と教員との親睦を深める良い機会となりました。○飯沼守彦先生が4月からイギリスのHull University Business Schoolに半年間、また吉田典正先生が昨年の8月から1年間アメリカのBrigham Young Universityへ海外派遣研究員として出張されています。

○マネジメント工学科では、ビジネスコースとテクノロジーコースの2コース制で、専門知識を深めて活躍できる学生を教育しています。今後とも校友各位のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

数理情報工学科

【学生数】3月に卒業生116名を送り出し、4月に新1年生174名を迎え平成22年度が始まりました。

【人事】教員は前年と変更はありません。4月より松井勇新学部長のもと、新しい生産工学部がスタートしました。数理情報工学科から執行部の一員として角田和彦教授が研究所次長に任命されました。今後のご活躍を期待いたします。数理情報工学科の事務員、原口明日香さんが3月退職されました。4年間にわたり事務室を守っていただきありがとうございます。4月1日より才田智美さんが着任されました。引き継ぎ期間が短く、大変だったと思います。

卒業生の皆様、学校へおいでの節はぜひ事務室にお立ち寄りください。
【トピックス】○後期より「メディアデザインコース」の授業が始まり、従来の「情報数理コース」、「情報工学コース」とともに3コースが走り始めました。

数理情報工学科のホームページは随時更新していますので
<http://www.su.cit.nihon-u.ac.jp/> をご覧ください。



才田智美さん

環境安全工学科

【学生数】二期生123名を迎え、在学生280名余となりました。

【人事】昇格 教授：岩下圭之、坂本憲一 准教授：古川茂樹、保坂成司 専任講師：小森谷友絵

【学位取得者】岩下圭之博士(工学)平成22年3月15日(日本大学)論文題目：Chla数値化アルゴリズムを活用した閉鎖性海域における流入河川の影響評価に関する研究

【トピックス】○新入生は入学後間もない4月17日(土)～18日(日)の1泊2日、オリエンテーション旅行で茨城県大洗町に行きました。この旅行は一日も早く大学に慣れ、また多くの学友を作ることを目的としています。旅行では教員と学生のグループミーティングや、学生同士の語り合いで親交を深め、これからの大学生活の不安が解消した学生もいたようでした。

○ここで当学科のカリキュラムの概要をお話ししますと、共通分野として、環境と安全、環境とエネルギーと共生に関する理念や方法、国際相互理解、インターナショナルコミュニケーション能力を身につけ、さらに専門性の高い「環境系」「安全系」「エネルギー系」の科目を学びます。また、持続可能なモノづくりを理解するために、環境と安全、環境とエネルギーおよびインターナショナルコミュニケーション能力育成に関する実技・演習科目も履修します。卒業後は、石油化学会社、エネルギー関連企業、食品関連企業、医薬品・化粧品メーカー、



新入生オリエンテーション旅行

一般製造業、建設関連企業、商社、官公庁など様々な企業において「サステイナブルエンジニア」や「ガバナンスエンジニア」としてリーダーシップを発揮する技術者となることを目標としております。

○最後に校友の皆様へのお願いになりますが、現在、環境安全工学科には1、2年生しか在籍していませんが、来年度夏季には生産工学部の特徴科目である『生産実習(インターンシップ)』に一期生を送り出さなければなりません。また、来年度後期には一期生が就職活動を行うこととなります。このような当学科の実情をご理解いただき、来年度から始まる生産実習、および就職活動に高配を願いたくお願いいたします。

創生デザイン学科

【学生数】学部281名

【人事】新任：二井進教授

【トピックス】○創生デザイン学科は2年目を迎え、後期からプロダクトデザインコースとスペースデザインコースがスタートしました。○1年生（133名）のオリエンテーションを4月17・18日 箱根で行い、グループミーティング、ポーラ美術館を見学し、学生同士および学生と教員の親睦を深めるとともに、デザイン心を養いました。○鳥居琢崇准教授が、ドイツのベルリン工科大学を中心に欧州諸国における安心・安全のマネジメントに関わる研究のため1年間海外派遣研究員として、8月9日に出発しました。○川岸梅和教授が、日本建築学会第11回提案競技「美しいまちをつくる、むらをつくる」で優秀賞を受賞されました。○2年生仲村未央さんが、JILLE×ミニミニフォトブックで特別賞を受賞されました。○内田康之准教授が8月28日、近隣の小学生を対象に「ロボットで遊ぼう」を開催し、小学生にもの作りの楽しさを体験してもらいました。



新入生オリエンテーション旅行

教養・基礎科学系（旧一般教育教室）

【トピックス】○教養・基礎科学系に属する現有教員43名の専門分野は、応用物理学、電子電気材料工学、電子デバイス工学、シェイクスピア、機能材料、電子機器、電子・電気材料工学、ヨーロッパ語系文学、分離工学、工業分析化学、運動生理、西洋古典学、哲学、倫理学、東方正教奉神礼学、外国語教育、古典ギリシア語、イギリス文学、核融合学、プラズマ科学、数理解析・物性基礎、日本中世史、ヨーロッパ語系文学、外国語教育、コンピュータ支援語学教育、コーパス言語学、代数的整数論、英米文学、文学論、比較文学、西洋古典、多変量データ解析、植物生理、上代文学、応用健康科学、タンパク質の構造、可積分系、構造工学・地震工学、流体工学、素粒子、宇宙物理、ドイツ文学、言語学、外国語教育、複合材料の弾性解析、物理化学、分析化学、物理系薬学、生体関連化学、代数学、身体教育学、大域解析学、無機化学、物理化学、機能物質化学、電力工学・電気機器工学、基礎解析学、公法学、量子エレクトロニクス、言語学、社会学、科学哲学などです。

○広汎な専門研究者を備えた教員を擁し、教養科目、基礎科学科目の講義が1000クラス近く開講され、新入生1700名あまりの1年次生の教育を一手に引き受けています。しかしながら、入試の多様化に伴い、新入学生の学力の格差に対応するため、入学初年度の学習支援の必要性が高まっています。特に基礎科学科目の学習格差の是正のため、基礎数学、基礎物理学演習、基礎化学演習などの科目を設置し、数学の補習授業、アカデミックアドバイザーによる個別指導体制を整えて対応しています。また、実用英語教育の充実にも力をいれて、外国人講師によるオールイングリッシュを必修とし、英語に触れる環境づくりに力をいれています。

教養・基礎科学系教員は、みずからの研究にうちこむとともに、その成果を土台とした教育活動の工夫にも力をいれています。また、広汎な専門分野をもつ教員同士の交流も積極的におこなわれ、学際的な研究の推進にも貢献しています。

生産工学部は経営のわかる技術者を養成します。

資料1 自動車工学・交通機械をリードする大学・学部

大学	学部 学科 研究科 専攻
1 東京大学	工学部 産業機械工学科 工学部研究科 産業機械工学専攻
2 東京農工大学	工学部 機械システム工学科 工学部研究科 機械システム専攻
3 日本大学	生産工学部 機械工学科 生産工学部研究科 機械工学専攻

※古くから自動車の実験的研究に強い。大型から二輪まで、車両の運動解析と、ドライビングシミュレータを用いたマンマシン系の特性解析が活発。
[学問最前線2006] (河合塾編・著)

資料2 平成21年度技術士一次及び二次試験大学別合格者

大学	技術士一次試験 (計)	技術士二次試験 (計)
1 日本大学	499	169
2 早稲田大学	243	131
3 東京工業大学	180	71

注) 第一次試験は、大学卒、大学院卒及び在学者の合計
第二次試験は、大学卒、大学院卒者の合計
文部科学省 (2010年1月)

資料3 出身大学別社長数

大学	人
1 日本大学	25975
2 慶応義塾大学	13636
3 早稲田大学	13023

※帝国データバンク調べ (2009年12月現在)

資料4 女性社長の出身大学

大学	人
1 日本大学	237
2 青山学院大学	226
3 日本女子大学	213

※「PRESIDENT」
2006 10.16号
(プレジデント社刊)

資料5 ベンチャー企業社長の出身大学

大学	人
1 慶応義塾大学	73
2 日本大学	56
3 早稲田大学	44

※「PRESIDENT」
2006 10.16号
(プレジデント社刊)

資料6 大学別 普通府県土木建築職者数 (公務員)

大学	課長	土木部長・技監・技監	計
1 日本大学	57	16	73
2 北海道大学	25	13	38
3 京都大学	24	12	36

※2001年度 地方庁土木技術者名簿
(政経口論社) より

資料7 就職支援 就職支援部門の職員

大学	人
1 日本大学	57
2 東海大学	27
3 立命館大学	21

※大学ランキング2007 (朝日新聞社刊)

資料8 就職支援 就職担当教員

大学	人
1 日本大学	191
2 近畿大学	99
3 金沢工業大学	61

※大学ランキング2007 (朝日新聞社刊)

資料9 インターシップ 参加学生数

大学	人
1 日本大学	1315
2 立命館大学	820
3 北里大学	787

※大学ランキング2007 (朝日新聞社刊)

資料10 特許取得 特許公報件数 (1994~2005年)

大学	人
1 日本大学	494
2 東海大学	461
3 慶応義塾大学	407

※大学ランキング2007 (朝日新聞社刊)

日本大学としての総合力

就職支援の面では、全学部を繋ぐ「NU就職ナビ」が利用でき、企業、求人、OB情報、過去の活動記録など日本大学だからこそできる、大きなアドバンテージとなっています。実際の就職支援では、行事やシステムはもちろんですが、身近にどれだけ相談にのり、アドバイスをしてもらえる体制があるかが最も大切な要素です。
生産工学部では各教員が企業・校友とのパイプを持ち、学生の相談に個別に応じ、研究室の先輩達も日常の触れ合いの中で、就職活動の経験を伝えていく環境があります。

日本大学生産工学部校友会誌「桜生工」

発行：日本大学生産工学部校友会
住所：千葉県習志野市泉町1-2-1
TEL：047-476-1140
FAX：047-476-3510
HOMEPAGE：<http://www.asahi-net.or.jp/~wa3k-kkt/index.html>
E-MAIL：wa3k-kkt@asahi-net.or.jp

印刷：株式会社 東工
住所：東京都北区赤羽北2-2-12
TEL：03-5963-5702
FAX：03-5963-5704
編集：日本大学生産工学部
校友会広報委員会